

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和3年3月22日(月) 10:00	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 松本 貴史 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

「成長期待企業」(2月選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の2社(累計530社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 寺本運輸倉庫(株)(倉庫業)

「信用」「努力」「確実」「親切」をキーワードに企業の危険を引き受ける!

(1) 沿革等

- ・ 当社は、昭和31年創業、昭和37年に法人成り。平成14年運輸部門を分社化、平成16年「ISO9001」を取得、現在に至る。
- ・ 現代取は大学中退後、同業他社を経て平成20年当社入社、平成26年に先代の死去に伴い代取就任。

(2) 当社の特徴

- ・ 当社は、消防法危険物第4類に分類される危険品及び普通品を取り扱う倉庫会社である。尼崎市と大阪市に合計約12,000㎡の倉庫を所有している。
- ・ 当社の強みとしては、普通品倉庫と危険品倉庫を併設しているため、普通品と危険品を1回の出荷指図で行うことができること、少量多品種の取り扱いを得意にしているため、少量多品種の危険品を個別管理し、貨物ごとの流通加工(検品、梱包、ラベリング、専用伝票発行等)に対応していることである。
- ・ また、神戸税関と大阪税関から許可を受けた保税蔵置所の許可を得ているため、荷主の通関業務の事情に合わせて保管場所を提供できることも当社の強みの一つである。



危険品倉庫(中島営業所)



付加価値サービスとして梱包、ラベリング等の流通加工を実施

(3) 今後の展開

- ・ 当社は今後更なる発展のため、人材の確保・育成、トラック増車、ホームページの充実、人事評価制度の導入、外部研修の実施、不採算取引の見直し、経費削減、業務効率化を課題として捉えている。
- ・ また、長期的な課題として、現在の荷受能力が限界に近づきつつあるため、新倉庫の取得を視野に荷受け能力拡大を検討していく必要があると考えている。

【寺本運輸倉庫(株) 概要】

代表者：寺本 雅明
資本金：8,000万円
従業員数：37名
所在地：尼崎市南初島町17
設立：昭和37年8月
電話番号：06-6488-7111
ホームページ：<http://www.besteck-teramoto.co.jp/>



2 (株)新征テクニカル (物流関連施設の設備・機械部品等製造)

物流というエッセンシャルサービスを裏で支えるものづくりの“挑戦”企業

(1) 沿革等

- ・ 当社は、昭和40年に新生製作所として創業。平成4年現社名で法人化、現在に至る。
- ・ 現代取は、21歳で当社入社、実父である前社長の指導の下、製造現場で経験を積み、平成27年代取就任。

(2) 当社の特長

- ・ 当社は、自動車製造ライン用機械部品や物流関連施設の設備・機械用部品を製造している。
- ・ 当社の強みは、中小企業ならではのフットワークの良さに加え、材料手配から溶接・機械加工、検査・納入までワンストップで対応しており、他社と比べコストダウンや納期の短縮が図れることである。その結果、取引先からの厚い信頼を得ている。
- ・ また、ものづくり技術の継承のため、地元の高校生などを対象とした工場見学を定期的実施し、ものづくりの楽しさを伝えるなど、地域への貢献を意識した活動を継続している。



顧客の様々なニーズに対応するため工場内にはマシニングセンターや溶接ロボットなど充実した設備が並ぶ

(3) 今後の展開

- ・ 今後については、これまでどおり既取引先のニーズに迅速に対応しつつ、新たな取引先を開拓したり、自動倉庫の設備における技術を活用した新たな事業への挑戦も実施していく。
- ・ また、現在の溶接ロボット以外にもロボットを導入することにより、業務の効率化を図っていく。
- ・ 加えて、ベテラン社員から若手社員への技術の継承に取り組むことや、社員のモチベーションアップのため業績に応じて臨時ボーナスを支給することなど、人材育成にも努めていく。



地元の高校生を対象とした工場見学など、地域に貢献する活動も実施

【(株)新征テクニカル 概要】

代表者：與那嶺 まり子
資本金：1,000万円
従業員数：14名
所在地：尼崎市西長洲町2-2-48
設立：平成4年4月
電話番号：06-6482-6887
ホームページ：http://shinsei-teku.com



〔参考〕成長期待企業について

1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、約500社の中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載